

## 債券と株式 2つの魅力

## CB

## 債券

〇〇円で株に  
転換できる権利

## 株式

転換社債型新株予約権付社債（CB）とは、あらかじめ決められた条件で株式に転換することができる権利（＝新株予約権）がついた社債です。

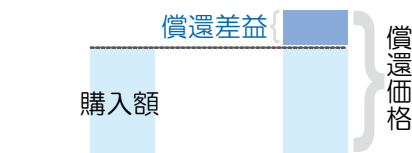
株式の収益性も、債券の確実性も追求したい、そんなご希望にお応えできる商品です。

## 〇安定した利金、額面償還



社債として安定した利金が受け取れ、株式に転換しない場合、満期時に額面で償還されます（利金のないゼロクーポン債もあります）。

## 〇購入額と償還価格の差益を期待

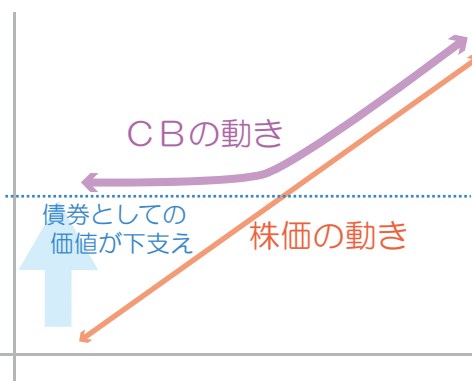


償還価格より低い価格で購入すれば、償還時に差益が発生します。

## 債券

## 〇株式の値上がり利益を期待

一般的なCBの価格変化のイメージ



一般に、株価が高くなるほど、CBの価格と株価の連動性が高まる傾向があります。

## 株式

最終ページの【金融商品取引法第37条（広告等の規制）にかかる留意事項】を必ずご確認ください。



SMBC日興証券

お問い合わせは／日興コンタクトセンター



0120-550-250

受付時間：平日 9:00～19:00／土・日・祝日 9:00～17:00

※土・日・祝日は資料請求のみ承っております。

SMBC日興証券ホームページ

<http://www.smbcnikko.co.jp>

# CB: 転換社債型新株予約権付社債



## CBとは

転換社債型新株予約権付社債とは、あらかじめ決められた条件で株式に転換することができる権利（＝新株予約権）がついた社債です。

転換社債と呼ばれていた商品で、転換社債の略称だったCB（Convertible bond）が現在も通称として使われています。

新発債	新規に発行されるものをいいます。通常、証券会社を窓口として、一般から募集します。日本経済新聞などに募集要項が公告されますので、目論見書をご確認の上、証券会社を通してお申し込みください。
既発債	既に発行されているものをいいます。通常、発行日の翌営業日に金融商品取引所に上場され、自由に売買ができるようになります。既発債の売買も証券会社を通じて行ないます。



## 債券としての魅力に注目

### CBを所有する期間の受け取り利息を重視する場合

直接利回りに注目。利率の高いCBを選んでください。

### 償還まで保有する場合

最終利回りに注目してください。利率が低くても、償還価格（通常100円）よりも低い単価で購入することで、最終利回りをアップさせることも可能です。

$$\text{税引前最終利回り (\% : \text{単利})} = \frac{\text{年利率}(\%) + \frac{\text{償還価格} - \text{購入単価}}{\text{残存年数}}}{\text{購入単価}(\text{手数料などを考慮})} \times 100$$



## 株価との連動性に注目

株式への転換を期待する場合は、乖離（かいり）率に注目しましょう。一般的に乖離率が低いほど、株価との連動性が高くなる傾向があります（株価との連動性は銘柄・状況によって異なります）。

$$\text{パリティ (理論価格)} = \frac{\text{株価}}{\text{転換価額}} \times 100$$

$$\text{乖離率}(\%) (\text{パリティとの価格差}) = \frac{\text{CB価格} - \text{パリティ}}{\text{パリティ}} \times 100$$

## ご注文のポイント

### ご注文について

取引時間	各金融商品取引所の株式の立会時間に準じます。
取引単位	券面により異なります。 100万円券種がほとんどで、500万円券種などもあります。
呼び値	額面100円に対する値段（手数料・経過利息は含みません）。 5銭単位。
注文の種類	「成行」「指値」の2通り。
受渡し	原則として普通取引（4営業日目受渡し）。

### 受渡し代金の計算

買い	約定金額（額面 × 単価 ÷ 100） + 経過利息 + 委託手数料
売り	約定金額（額面 × 単価 ÷ 100） + 経過利息 - 委託手数料

#### ※経過利息とは

前回の利払い日の翌日から受渡日までの日割りによる利息。売り手と買い手の所得税などの負担を調整するため、税相当分を差し引いて受け渡します。

## 主なリスクについて

### 価格変動リスク

株価動向によって価格が変動します。価格が高くなるほど、下値リスクは高まります。金利動向によって価格が変動します。株価や金利が変わらなくても、先高・先安感や需給関係などにより、CBの価格が変動します。株式に比べ流動性が低いため、希望の値段で約定できない場合があります。

### 信用リスク

通常の債券と同様、発行体の債務不履行リスクが存在します。発行体の経営・財務状況の変化およびそれらに関する外部評価（格付機関による格付等）の変化等により、価格に影響がある場合があります。

### その他

転換請求できる期間が決められています。額面を上回る価格（120円など）で購入しても、満期時には額面（通常100円）で償還されます。コール・オプション条項付きの場合、償還時期が早まる場合があります。特約・条項等についての詳細は各目論見書をご覧ください（当社で目論見書をご用意できない銘柄もございます）。CBの残存額の減少や、出来高の減少などで上場廃止となる場合があります。償還差益は雑所得として総合課税の対象となります。

#### 【金融商品取引法第37条（広告等の規制）にかかる留意事項】

本資料は、SMBC日興証券株式会社（以下「当社」といいます）が、投資情報の提供を目的に作成したものです。

当社の商号	SMBC日興証券株式会社 （金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第2251号）
当社の加入協会	日本証券業協会、一般社団法人日本投資顧問業協会 一般社団法人金融先物取引業協会、一般社団法人第二種金融商品取引業協会

#### [手数料等について]

国内転換社債型新株予約権付社債（以下、CBといいます）のお取引にあたっては、約定代金に対して最大1.242%（ただし、最低手数料2,700円・いずれも税込）の手数料をご負担いただきます。なお、外枠手数料を徴収しない方式で行う当社との相対取引の場合等には、約定代金のみを受払いいたします。

#### [リスク等について]

CBには株式相場、金利水準、為替相場、不動産相場、商品相場等の価格の変動等および有価証券の発行者等の信用状況（財務・経営状況を含む）の悪化等それらに関する外部評価の変化等を直接の原因として損失が生ずるおそれ（元本欠損リスク）があります。

本資料は、当社が信頼できると判断した情報源から入手した情報に基づいて作成しておりますが、これらの情報が正確であるとの保証はいたしかねます。情報が不完全または要約されている場合もあります。本資料に記載する価格、数値等は、過去の実績値、概算値あるいは将来の予測値であり、実際とは異なる場合があります。本資料は将来の結果をお約束するものでもございませんし、資料にある情報をいかなる目的で使用される場合におきましても、お客様の判断と責任において使用されるものであり、本資料にある情報の使用による結果について、当社が責任を負うものではありません。投資に関する最終決定はお客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。